

2026年7月よりサービス開始

カモメ 混載便

モーダルシフトのための 小口輸送 混載便サービス

環境負荷の軽減、
BCP対策に効果

ドライバー不足の
緩和と負担軽減



ご利用案内

【従来】トラック（4tや10tトラック）をチャーター

長距離トラック輸送（陸送）



【カモメ混載便】海陸複合輸送ネットワークで、

CO₂排出を低減！（当社手配区間）



対象貨物

パレット貨物もしくはフォークリフト作業が可能な荷姿

取扱拠点

博多、敦賀、名古屋、仙台、苫小牧

輸送方法（運用）

- 13mセミトレーラー（内寸長12.5m）のウイングシャーシを使用
- 太平洋フェリーと近海郵船の定期航路を利用
- 拠点港付近に積替倉庫を設けて集約/引渡/積替などの作業を実施

基本単位

- パレット区画の単位からご利用が可能です
- 基準サイズ：L1,100×W1,100×H1,100mm、重量：700kgまで
- ※上記サイズを超えるもの（長尺物、重量物等）についてはLWHおよび重量の超過につき、別途割増料金を申し受けます

リードタイム

約1日～8日間を想定（利用区間により変動あり）

博多発→各拠点のCO₂排出削減率

博多発→輸送航路	トラック→フェリー CO ₂ 排出削減量 (t-CO ₂)	削減率
敦賀	3.4	83%
名古屋 (敦賀から陸送)	2.2	62%
仙台	4.6	69%
苫小牧	6.7	73%

※1運行・最大積載量20tと仮定（CO₂排出量＝トン数×走行距離×CO₂排出係数）

※CO₂排出量の算出（トンキロ法）1トンの貨物を1km運ぶ

（＝1トンキロ）時に排出されるCO₂排出量

※輸送別CO₂排出係数（g-CO₂/t・km） 営業用貨物車（トラック）195、船舶（フェリー）41
（国土交通省の公表数値より）

名古屋港を基点に南・北航路で全国各地へ

南航路 近海郵船(敦賀港～博多港)

・運航頻度:往路週1便／復路週1便

北航路 太平洋フェリー(名古屋港～仙台港～苫小牧港)

・運航頻度:往路週1便／復路週1便

陸上輸送区間:敦賀港～名古屋港(南航路と北航路の乗継区間)

積替倉庫:(倉庫受渡)※取引／配送のトラック手配も可能(ドアツードア)

- ・博多港:名港海運 博多物流センター
〒812-0051 福岡県東区箱崎ふ頭六丁目2番8号
- ・敦賀港:敦賀海陸運輸株式会社 鞠山南CFS
〒914-0072 福井県敦賀市金ヶ崎町49-1
- ・名古屋港:名港海運 稲永10号物流センター
〒455-0844 愛知県名古屋市港区潮風町1番地
- ・仙台港:三陸運輸株式会社 仙台港物流センター
〒983-0001 宮城県仙台市宮城野区港二丁目1番4号
- ・苫小牧港:株式会社栗林商会 栗林物流センター
〒059-1372 北海道苫小牧市勇払152-245



リードタイム 早見表		お引渡場所				
		博多	敦賀	名古屋	仙台	苫小牧
お持込場所	博多	持込→引渡	火曜日→木曜日 (2日目引渡)	火曜日→金曜日 (3日目引渡)	火曜日→翌月曜日 (6日目引渡)	火曜日→翌水曜日 (8日目引渡)
	敦賀	月曜日→水曜日 (2日目引渡)	持込→引渡	木曜日→金曜日 (1日目引渡)	木曜日→翌月曜日 (4日目引渡)	木曜日→翌水曜日 (6日目引渡)
	名古屋	金曜日→翌水曜日 (5日目引渡)	金曜日→翌月曜日 (3日目引渡)	持込→引渡	金曜日→翌月曜日 (3日目引渡)	金曜日→翌水曜日 (5日目引渡)
	仙台	水曜日→翌水曜日 (7日目引渡) ※木曜日→翌水曜日 (6日目引渡)	水曜日→翌月曜日 (5日目引渡) ※木曜日→翌月曜日 (4日目引渡)	水曜日→金曜日 (2日目引渡) ※木曜日→翌月曜日 (4日目引渡)	持込→引渡	月曜日→水曜日 (2日目引渡)
	苫小牧	火曜日→翌水曜日 (8日目引渡)	火曜日→翌月曜日 (6日目引渡)	火曜日→金曜日 (3日目引渡) ※火曜日→翌月曜日 (6日目引渡)	火曜日→木曜日 (2日目引渡)	持込→引渡

(※印) 船のスケジュールによって異なります

【受付時間】 ブッキング受付:お持込日前日の16時まで

【貨物受付時間】 お持込:当日午前まで(8:00～12:00) / お引渡:当日午後より対応(13:00～16:00)

【注意事項】 祝日、船のドック入り、または荒天による欠航が発生した場合、所要日数が変動する場合があります。
(船のスケジュールに合わせて調整いたします)



<お問い合わせ>

各営業担当へご連絡ください。資料の内容について、さらに詳細なスケジュールや特定の区間の料金を確認されたい場合は、お気軽にお申し付けください。